

民意を反映する選挙制度実現
比例定数削減反対！ **運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2012年8月24日

第355号 Tel 03-3261-9007
本号14号 Fax 03-3261-5453

民主党 暴挙の上に暴挙、国民の声全く無視

全野党 民主・赤松委員長に抗議して欠席

民主党は22日、すべての野党の反対を押し切って政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会（倫選特）を単独で開催し、民主党提出の比例定数削減案の趣旨説明を強行しました。

23日にはすべての野党が抗議する中、9時から倫選特を民主党単独で開催強行、出席議員は20人と成立ギリギリ（同委員会は定数40人）でした。30分の民主党議員の質問の後、残りの日程2時間30分を「空まわし」（委員長が「〇〇党の質疑に入ります」と告げ、割り当て時間をなにもしないで消化すること）。質問に立った民主党の後藤祐一議員と法案提案者の樽床民主党幹事長代行とのやりとりでは「民主党は手続き面でも内容面でも強引なことはやっていない」との強弁に終始しました【23日の委員会速記録別掲＝正式会議録は後日国会のHPなどに掲載される】。

24日の動き

24日も全野党が抗議して欠席する中、民主党単独で質疑を続行。民主党の小室寿明議員が20分余り質問したのち、野党議員の質疑時間を「空まわし」しました【24日の委員会速記録別掲】。当初、民主党は24日中の採決の意向を示していましたが、同日は採決を行わず、週明け27日の委員会質疑日程を一方的に決定。引き続き、単独採決の構えを崩していません。

各党協議の打ち切りや法案の単独提出、委員会付託の強行、問答無用の審議入り、しかも消費税増税を国民に押し付ける言い訳に選挙制度改革を使う民主党の一連のやり方、議会制民主主義の土台を決める選挙制度問題を自党の思惑だけで引き回す前代未聞の事態、民意をさらに国会から遠ざける比例定数削減を迫る内容への国民の不信は高まる一方です。

6 野党 赤松委員長に抗議文渡し、理事会欠席

23日、自民、生活、公明、共産、社民、みんなの6党は前日に続き、一致して「抗議文」を渡し、民主党の単独強行に抗議しました。【抗議文別掲】。

自民党を含む全野党が、選挙制度をめぐる意見の違いをこえて、一致し、「抗議文」で、民主党が「各党協議を一方的に打ち切り、単独で法案を提出し、委員会への付託を強行」したことに抗議し、「各党間の協議の場を設けるなど、丁寧な議論をやり直すべきである」と求めていることは、重要です。

来週以降の動き

8月27日（月） 理事会 10：20、委員会 10：30
選挙制度の民主党案の質疑（各党 10分）

11 団体 31 日（金）に

院内集会&議員要請

国会会期末（9月8日）を目前に、緊迫した情勢となっている国会を監視し、民意が届く選挙制度の実現、比例定数削減反対を掲げ、11団体は院内集会&議員要請を行ないます。【案内チラシ別掲】

集会は8月31日（金）午後1時30分～、衆議院第1議員第3会議室が会場。集会後倫理特委員などへの要請行動を行ないます。

団体から全国・地元からの緊急要請行動を呼びかけ

また、緊急の要請を団体から、全国から、また議員の地元での要請を強めようと呼びかけています。

「課税府のノダ」リーフの活用、同ポスターの活用呼びかけ

11団体は、「課税府のノダ」リーフレットを緊急に活用し尽そうと呼びかけています。また、同リーフの1面を拡大した宣伝パネル用データもあります。街頭などで使うのに便利です。憲法会議に連絡すれば直ちに送信します。

「課税府のノダ」リーフ

緊急活用分は無料(送料のみ負担していただく)

自由法曹団または憲法会議に連絡すれば、送料負担のみで届きます。

自由法曹団本部連絡先 TEL 03-3814-3971

Fax03-3814-2623

メールアドレス jlaf@ca.mbn.or.jp